



# 学校だより

令和 8年 2月26日  
羽曳野市立恵我之荘小学校  
校長 坂井宏志

## 旅立ちの春を迎えて

3月のやわらかな日差しに、春の訪れを感じる頃となりました。校庭の木々も少しずつ芽吹き始め、子どもたちの一年間の成長を静かに祝福しているかのようです。

## 6年生へ … 「感謝とエールを込めて」



6年生はいよいよ卒業を迎えます。この一年、学校の“顔”として、委員会活動やクラブ活動、また運動会をはじめとした学校行事など日々の学校生活のさまざまな場面で下級生を優しく導いてくれました。その背中には、確かに次の世代へと受け継がれています。中学校という新しい舞台でも、自分らしさを大切に、一步一步前へ進んでほしいと願っています。

## 発表参観に向けて … 「努力の積み重ねが力になる」

各学年では発表参観に向けて準備を重ねてきました。できるようになったことを披露するだけでなく、友達と力を合わせ、一つのものを創り上げる過程そのものが大きな学びです。緊張しながらも堂々と発表する姿、仲間を思いやる姿に、子どもたちの確かな成長を感じています。どうぞ、その頑張りに温かい拍手をお願いいたします。

## 地域に支えられて … 「感謝の心を行動で」



先日、地域の方(車を運転されていた方)からうれしいお話をいただきました。横断歩道で車を止めた際、本校の低学年の児童が深々と頭を下げてお礼をしてくれた姿に感動した、という内容でした。誰かの親切に気づき、感謝の気持ちを行動で表すことができる——それは、ご家庭でのご指導や本校が大切にしてきた心の教育の一つの表れでもあります。地域の皆様に温かく見守っていただいていることに、改めて感謝申し上げます。

## 「最後まであきらめない」心 … 「オリンピックから学ぶ」

この2月、イタリアで開催された2026年ミラノ・コルティナオリンピックでは、多くの感動が生まれました。中でもフィギュアスケート・ペアの三浦璃来選手と木原龍一選手の演技は、「最後まであきらめない」強い気持ちの大切さを教えてくれました。ショートプログラムの5位から、フリーで世界歴代最高得点を更新し、合計点で金メダルを獲得しました。ペア種目でのメダル獲得は日本で初めてです。

何度、その映像を見ても私は涙があふれてきます。困難な場面があっても互いを信じ、演技をやり遂げた姿は、多くの人々の心を打ちました。挑戦の中でこそ、人は大きく成長するのだと感じさせてくれました。



## 次のステージへ … 「一日一日を大切に」

一年の締めくくりとなる3月。今の学年で過ごす一日一日を大切にしながら、それぞれが自分の成長を振り返り、次のステージへの希望を膨らませてほしいと思います。教職員一同、子どもたちの新たな門出を心から応援しています。